

東京都庭園美術館は開館40周年を迎えます



東京都庭園美術館は2023年10月1日に開館40年の節目を迎えます。これを記念し、美術館の新たな魅力を紹介するため、2023年度を通じて様々な事業を実施いたします。この機会にぜひ貴媒体にて東京都庭園美術館の開館40周年をご紹介くださいますようお願い申し上げます。

40周年記念事業の概要

1 今後の開館40周年記念事業予定

1

10月1日開館記念

TEIEN 40th Anniversary Festival

開館40周年の節目に、美術館の名前にも由来する「庭園」の新たな魅力を知っていただけるようなイベントを企画しました。開館記念日である2023年10月1日（日）から11月19日（日）にかけて、四季折々豊かな表情を見せてくれる庭園を活用した40周年記念事業を開催します。

□10月1日開館記念日は入館無料！

開館40周年を記念して今年の10月1日（日）は特別に、企画展「装飾の庭 朝香宮邸のアール・デコと庭園芸術」を無料でご観覧いただけます。

当日は混雑が予想されます。展示室が混雑した場合、入館を一時お待ちいただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

□ジャズとダンスの祝宴 マチネ

10月1日（日）を祝祭の日とし、19世紀末から現代までの音楽とダンスでお客様をお迎えします。ワルツに始まり、アール・デコと同時代のジャズ音楽に合わせたダンスを経て、やがて現代のダンスへと続きます。

ジャズバンドによる生演奏や、時代を表すダンサーたちの衣装にもご注目ください！過去から現在までの音楽とダンスの祝宴を、タイムスリップしているような感覚でお楽しみいただきます！

実施日 2023年10月1日（日）2回公演 13:30～、15:00～（各回30分程度）
※雨天中止（前日の17:00までに、当館ホームページにて開催の可否をお知らせいたします。）

会場 東京都庭園美術館 芝庭

参加費 無料

申込み 不要

出演



HIBI★Chazz-K（演奏）

「JAZZを音楽の架け橋にしたい！こちらから音楽を届けたい！」という思いから結成されました。ストリート・ジャズ・サックス・アンサンブルバンド。

ソプラノサックス、アルトサックス、テナーサックス、バリトンサックスとドラムスで編成。

「心が踊り出す真昼に似合うハッピー・ジャズ」をコンセプトに、国境・ジャンルを越え、老若男女が楽しめるパフォーマンスを披露します。



水中めがね∞（ダンス）

2011年、活動開始。

振付家・ダンサー・制作・ビジュアルデザイナーなどが所属しているコンテンポラリーなダンスカンパニー。

「人間社会におけるダンスの在処・在り方を模索し開拓すること」を目標に掲げ、舞台作品や映像作品の創作・企画等を行っています。

公開ゲネプロ ジャズとダンスの祝宴

本番前日にゲネプロ（本番さながらの通し稽古）を公開で行います。

実施日 2023年9月30日（土）

時間 13:30～14:00

会場 東京都庭園美術館 芝庭

参加費 無料（ただし、庭園の入場料 一般200円、または展覧会チケット一般1,400円が必要です。）

申込み 不要

※雨天中止

（前日の17:00までに、当館ホームページにて開催の可否をお知らせいたします。）

□庭園マルシェ

西洋庭園におしゃれな花屋やキッチンカーが登場します。美術館をイメージした特別ランチメニューや、当日限定のメニューなどを販売します。

実施日 2023年10月1日(日)
*雨天実施。荒天の場合は中止。
時 間 11:00—16:00
会 場 東京都庭園美術館 西洋庭園

出店舗

1 - REVIVE KITCHEN THREE (飲食)

<https://www.instagram.com/three.revivekitchen.hibiya/>



コスメブランドTHREEが展開する、お野菜を美味しく健やかに味わうためのレストラン。

"MODERN SHOJIN"をコンセプトに日本の大地の恵みを世界中の調理法で提供。心・からだ・肌の揺らぎを思いやる「五感に楽しく心地よい食」をお愉しみください。

東京産ケールとアボガドのメランジェサラダ

10種類以上の新鮮なお野菜が愉しめるファームサラダ。

東京産の新鮮なケールを使用し、秋野菜たっぷりのデリを贅沢に味わえるサラダプレート

2 - GREEN FOOD CAMPER (飲食)

<https://www.instagram.com/greenfoodcamper/>



湘南・茅ヶ崎のプラントベースのメニューをお届けするフードトラック「GREEN FOOD CAMPER」で植物性のメニューを作っています。美しい樹木や花からなる"庭園"のガーデンパーティーをイメージしたメニューをご用意。華やかな盛り付けと装飾で、40周年の祝祭会場を盛り上げます。

庭園ヴィーガンタコス

- ・秋の味覚3種のきのこのタコス(スモーキーバーベキュー風味)
- ・自家製フムスとフレッシュサルサのタコス

庭園美術館で四季をたのしんでくださっているお客様たちにも喜ばれるよう、自然に寄り添った旬な素材を使っています。

3 - UNG WATANABE (飲食)

<https://www.instagram.com/ungwatabe/>



文京区小石川で昭和23年より三代にわたり鰻屋を営む「わたべ」。江戸前の蒸す方法と東海地方の地焼きという方法のハイブリット「江戸前地焼き」を新しく考え、2020年からキッチンカーで焼きたてを販売。1匹400g前後の大きい鰻を丁寧に割り、鉄串を打ち、炭火で焼き上げた熱々の鰻を提供します。

Jardin うな丼 (ジャルダンうな丼)

炭火で焼き上げた白焼き丼に、江戸前ハーブと大葉と梅のソースをかけてお召し上がりください。

4 - はらいたコーヒー（飲食）

https://www.instagram.com/haraita_coffee/

おなかのよわい人が、腹痛の心配なく食べられるアイスとコーヒーを作っています。

お腹がよわくて乳製品やカフェインが苦手でも、冬はあたたかいコーヒーを片手に散歩したいし、夏は芝生でアイスでも食べてのんびりしたいよね。はらいたコーヒーはそんな想いから始まりました。

コラボフロズンヨーグルト アプリコット × 豆乳ヨーグルト

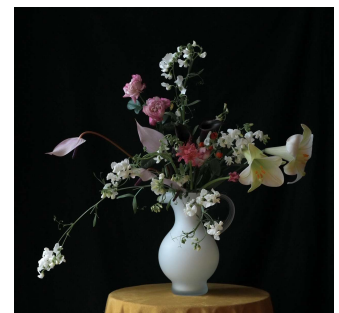
フランスの有名な果物『アプリコット』を豆乳ベースのヨーグルトと合わせて作りました。緑を感じるミントの香りと共に、甘酸っぱい優しいアイスを庭園でお楽しみください。



5 - VEIN（花屋）

<https://www.instagram.com/veintokyo>

世田谷区赤堤に店舗を構える花屋 VEIN。VEINは葉脈を意味します。自然とのつながりを大事に、人それぞれの想いや感性が葉脈(VEIN)のように繋がっていき、暮らしの風景を豊かにできたら。そんな思いを込めています。



オリジナルラッピングブーケ

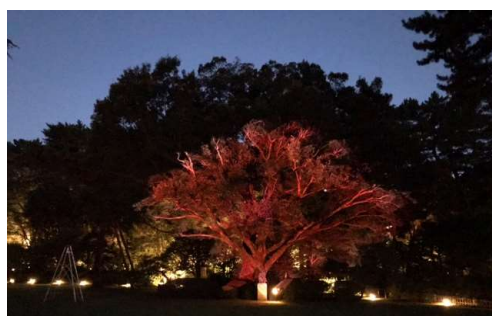
庭園美術館をイメージして、グラフィックデザイナーのイトウナツミさんと一緒に制作したオリジナルの包装紙でラッピングしたブーケです。

□光 宿る大樹

朝香宮邸が建つずっと前からこの地を見守ってきたオオエノキ、それに寄り添うように並び立つムクノキは、芝庭のシンボルツリーです。その木を祝の紙吹雪のように光に輝くモビールで飾り付け、40周年のお祝いの大樹にします。

夜にはプロジェクションマッピングで映像を投影し、大樹の精霊が私たちに問いかけてくるような、幻想的な光の調べがくりひろげられます。

実施日	2023年10月20日（金）－11月19日（日）
時 間	16:00－18:00 ＊入館は閉館の30分前まで ※11月17日（金）、18日（土）20:00まで夜間開館。
会 場	東京都庭園美術館 芝庭
参加費	無料（ただし、庭園の入場料 一般200円、または展覧会チケット 一般1,400円が必要です。）



「光 宿る大樹」イメージ

□ジャズとダンスの祝宴 ソワレー光の調べー

「光 宿る大樹」のもとで、「ジャズとダンスの祝宴」の夜公演を行います。プロジェクションマッピングによる映像と美しい光が加わり、昼公演とはまた違ったジャズとダンスの祝宴をお楽しみいただきます。夜の光の中でしか感じる事の出来ない庭園の新たな魅力を引き出します。

実施日 2023年11月17日（金）、18日（土）
（夜間開館日）

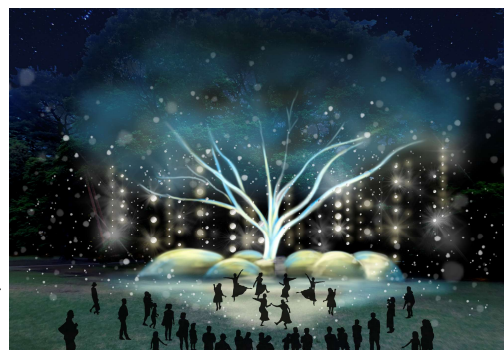
※雨天中止（前日の17:00までに、当館ホームページにて開催の可否をお知らせいたします。）

時 間 各日18:00～（30分程度）

会 場 東京都庭園美術館 芝庭

参加費 無料（ただし、庭園の入場料 一般200円、または展覧会チケット一般1,400円が必要です。）

申込み 不要



「ジャズとダンスの祝宴 ソワレー光の調べー」イメージ

2 庭園能

庭園の緑豊かな木々を借景に、日本の伝統文化「能」の公演を行います。目黒駅近郊に喜多能楽堂を構える（公財）十四世六平太記念財団と共催する本事業は、地域連携の取り組みです。

実 施 日 2023年11月24日（金） 16:00～ 能「鶴」
11月25日（土） 第1部 12:30～
能「羽衣 舞込」
第2部 15:30～
能「小鍛冶 白頭」
（各回 1 時間30分程度）

会 場 東京都庭園美術館 芝庭
※雨天の場合は
セルリアンタワー能楽堂
（前日の15:00以降に当館ホームページおよび喜多能楽堂ホームページでお知らせします。）

定 員 各公演201名
チケット販売 e+（イープラス）
<https://eplus.jp>
famiポート
（ファミリーマート設置端末）

各 公 演 5,000円（全席自由、入替制）



能「羽衣 舞込」 撮影者：石田裕

3

庭園の四季シリーズ

紅葉をめぐる秋のガーデンツアー

今年度より、公式SNS上で「庭園の四季シリーズ」と題して、その季節ならではの庭園の様子を伝えるコーナーを実施中です。そのシリーズのリアルツアーとして、紅葉が美しくなり始める時期に合わせ、庭園の草花の様子や邸宅時代のエピソードを交えて紹介しながら、秋の庭を鑑賞します。

実施日	2023年11月28日（火） 14:00～15:00 11月29日（水） 14:00～15:00
会場	東京都庭園美術館 庭園
募集人数	各回10組20名（事前申込制・先着順）
申込方法	公式ウェブサイト内、申込みフォームより （11月上旬募集開始予定）
参加費	無料（ただし、庭園の入場料 一般200円、または展覧会チケット 一般1,400円が必要です。）



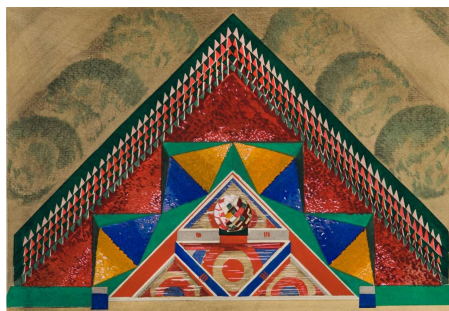
4

開館40周年記念展覧会ラインナップ

□装飾の庭 朝香宮邸のアール・デコと庭園芸術

会期	2023年9月23日（土・祝）－12月10日（日）
開館時間	10：00－18：00 ＊入館は閉館の30分前まで ※11月17日（金）、18日（土）、24日（金）、25日（土）、12月1日（金）、2日（土）の夜間開館日は20:00まで。
休館日	毎週月曜日（ただし10月9日は開館）、10月10日（火）
入館料	一般 1,400円ほか

1925年のアール・デコ博覧会では、「庭園芸術」が独立した出品分類として取り上げられるほど重要視されていました。本展では、両大戦間期のフランスを中心とした近代庭園をめぐる動向に着目し、古典主義、異国趣味、モダニズム的要素を取り入れて展開していった様子を、絵画、芸術、写真、デザイン等の作品から紹介します。



ガブリエル・ゲグレキアン「水と光の庭園」
『庭園1925年』1926年

□旧朝香宮邸を読み解くA to Z

会 期 2024年2月17日（土）－5月12日（日）

開 館 時 間 10：00－18：00 ＊入館は閉館の30分前まで

※2024年3月22日（金）、23日（土）、29日（金）、30日（土）の夜間開館日は20:00まで。

休 館 日 毎週月曜日（ただし4月29日、5月6日は開館）、4月30日（火）、5月7日（火）

入 館 料 一般 1,400円ほか

Art-Deco, Bathroom, Chandelier, Decorative art… 当館本館である旧朝香宮邸建築に関する専門用語や室内装飾を、AからZのキーワードに沿って発見的に読み解くことで、歴史・美術史的価値を理解しながら鑑賞できる展覧会です。40年間に渡る当館の調査研究の蓄積を振り返るとともに、今日の活動もあわせて披露。当館の独自性を存分にご覧いただけます。



東京都庭園美術館本館 次室 香水塔

2 デジタル環境の充実

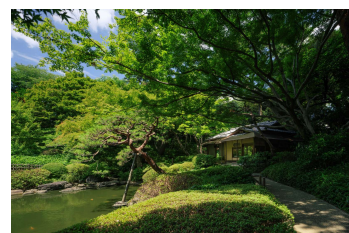
1

9月下旬公開予定

日本庭園の3Dオンラインビューイング

美術館の日本庭園を4Kのカメラで撮影し、日本庭園の中を実際に歩いているような疑似体験ができる3Dオンラインビューイングを作成します。

9月下旬、40周年特設サイトで公開予定です。



2

10月1日公開予定

公式ウェブサイトの大規模リニューアル

開館40周年を迎えるにあたり、約8年ぶりに公式ウェブサイトを大規模にリニューアルします。

今回のリニューアルでは、庭園美術館のブランドイメージを確立し、最新のトレンドをおさえながら、あらゆる方々のユーザビリティに寄り添い、利用環境の最適化を図ります。



3

40周年記念事業を紹介する特設サイト開設



40周年の多様な取り組みを発信していくため、特設サイトを開設しました。

周年にかかわるイベントなどもこちらのページで順次紹介します。

<https://teien40th.jp/>



3 その他40周年関連

1

近日公開

ガーデンマップ リニューアル

公式ホームページのリニューアルに伴い、庭園の散策をより楽しくサポートしてくれるマップを改訂いたしました。四季折々の花の開花シーズン一覧も充実。マップを片手に庭の新たな発見を楽しめます。ガーデンマップはリニューアル後の公式ホームページからもダウンロードできます。

2

40周年記念ミュージアムグッズ

オリジナルトートバック 近日発売

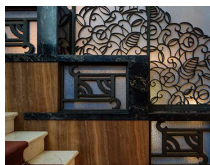
美術館の外観をデザインした、トートバックです。丈夫で持ち運びしやすい形にデザインしました。



完成イメージ図

4 40周年のアイコン

□ロゴデザインの由来



開館40周年のアイコンとなっているロゴは、美術館本館の第一階段を装飾するブロンズ製金物のモチーフを基にデザインしました。

本館はルネ・ラリックのガラスレリーフや、マックス・アングランのエッチングガラスが印象的ですが、室内装飾のすべてが海外より持ちこまれたものではありませんでした。この第一階段の装飾金物は宮内省内匠寮によるもので、モチーフとなっている椿のような花は、和風アール・デコともいえるべきデザインとなっています。この装飾からは、建物を建設するにあたり、海外におけるアール・デコの潮流を受け取り、解釈、昇華していった当時の足跡を垣間見ることができます。

館内にはほかにも多くの和風アール・デコのデザインが施されています。西洋と東洋が会える東京都庭園美術館は、作品を通して、皆様のひらめきに出会える場でありたいと願っています。

□キャッチコピー

美術館を訪れるすべての人が、「今日はいい日だった」と思える場所にしたい。

40周年の事業もそうあるよう、館を支えるスタッフ一同の願いが込められています。



わたしのいい日に。
ようこそ40年目の美術館へ

※内容は変更になる場合がございます。ご了承ください。

お問い合わせ先

東京都庭園美術館

プロモーション担当係長 青木

40周年記念事業担当 河村

TEL. 03-3443-0201

Mail. press40th@teien-art-museum.ne.jp

〒108-0071 東京都港区白金台5-21-9

* 画像を掲載いただける場合は、担当までお声がけください。

東京都庭園美術館

TOKYO METROPOLITAN TEIEN ART MUSEUM